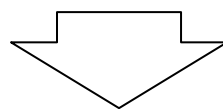
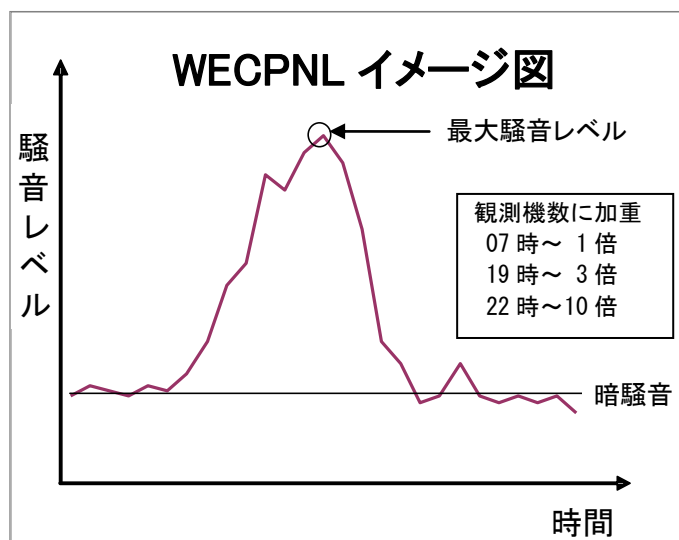


旧環境基準（WECPNL）と新環境基準（Lden）の違い

旧環境基準

- 旧環境基準は昭和48年に策定され、評価指標にWECPNL（加重等価平均感覚騒音レベル）を採用している。
- WECPNLは、航空機の最大騒音レベルと航空機の機数（発生回数）を基に評価値を求める
- 定常的な航空機騒音（エンジンテスト、滑走路への移動音）は評価に入らない。
- 環境基準値
 - I 類型：70
 - II 類型：75



平成19年12月17日 改正環境基準告示
平成25年4月1日 施行

新環境基準

- 新環境基準では、新たな評価指標Lden（時間帯補正等価騒音レベル）が採用される。
- Ldenは最大騒音レベルを調査するWECPNLと異なり、各飛行機の騒音を、聞こえ始めから聞こえ終わりまでの人が受ける騒音エネルギー（図の斜線部分）を測定する。
- WECPNLでは対象にならなかった定常的な航空機騒音も測定・評価する。
- 環境基準値
 - I 類型:Lden57dB (旧基準70に相当)
 - II 類型:Lden62dB (旧基準75に相当)

